

令和3年度

保育士自己評価

《職員に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

		A	B	C	無
1	明るい笑顔で挨拶をしていますか	17	9	0	0
2	お互いに良さを認め合い高め合える努力をしていますか	10	14	2	0
3	同僚や上司、園の批判を軽はずみにしていませんか	23	3	0	0
4	クラスの様子や出来事を報告していますか	13	12	1	0
5	自分で判断できないことは、園長・主任に相談していますか	19	5	1	1
6	自分の意見がある場合は、職員会議などで述べていますか	4	12	10	1
7	自分の考え、やり方が違っていても、会議で決まったことには従っていますか	23	3	0	0
8	お互いの不得意な所を補い合っていますか	9	16	1	0
9	保育について、良い所、悪い所が指摘し合える関係を作っていますか	4	16	6	0
10	自分の分担以外のことも関係ないと思わずに、協力しあえますか	15	11	1	0
11	社会人としての常識を持ち、専門職として責任ある行動をとっていますか	14	11	1	0

【評価】

- 一緒に働く者として、互いに健康に気遣えるようにと思っている。
- 先輩の意見や保育を参考にしながら保育をしている。
- 毎日笑顔で接することを心がけ、周りを見ながら協力し合っている。
- コミュニケーションを取りながら、クラス運営できるようにしている。意見を出し合い、保育の現場がより良くなるようにしている。
- 職員全体で協力しながら保育をする仕事なので、感謝の気持ちを持って子どもたちの為に頑張っている。
- 他のクラスの保育士とはあまり関わっていない。同じクラスの保育士とは、気兼ねなく話し仕事の分担をしたり協力しながら進めている。
- 報告・連絡・相談を心がけ相談できる環境ができている。
- お互いの保育でこういうやり方もあるんだと勉強になる。しかし「それは違うのでは？」と思っても口に出せない。良いところはもちろん改善すべき所など話していけたらと思う。
- お互いの意見を出し合って、良い物を作れるようにしたい。

《心の健康管理》

*当てはまるものに○を付けて下さい

1	最近、意欲ややる気がわからない	2
2	イライラして怒りっぽくなることが多い	6
3	集中力がなくなりミスが増えている	2
4	人と話すのがおっくうである	1
5	保護者と話すのが怖い	1
6	園児を可愛いと思えない	1
7	職場の付き合いが面倒だ	0
8	朝、出勤するのが気重である	2

《保護者に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

		A	B	C	無
1	明るい笑顔で挨拶をしていますか	22	4	0	0
2	どの保護者に対しても、平等に対応していますか	20	6	0	0
3	守秘義務を守っていますか	25	1	0	0
4	言葉遣いに気を付け、誠意を持って接していますか	13	13	0	0
5	その日の子どもの姿を、丁寧に伝えるように努めていますか	9	9	5	3
6	相手の立場になり、話を聞き、気持ちを受け止めていますか	12	11	1	2
7	親身なアドバイスができていますか	7	11	5	3
8	園の方針・保育内容・集団での決まり事をきちんと伝えていきますか	9	12	2	3
9	意見や要求（苦情）を聞こうとする姿勢をとっていますか	16	7	1	2

【評価】

- なかなか保護者と接する機会がない。お話しできるときは、子どもの日々の姿や保護者へのアドバイスなどを丁寧に伝える様、心がけている。
- 保護者の立場から何を望んでいるのかを察するように、心がけながらも自然に接するようにしている。
- 保護者の立場になり自分が先生にこうしてもらえると嬉しいとか、嫌だとかを考えながら接するように心がけていきたい。
- 保護者が気になっていることや困っていることに対して、解決できるように配慮している。
- 子どもの事を共有できるように努め、保護者の意見を聞きながらそれに合ったアドバイスをしたい。
- 伝えることは伝えているが、保護者の話を聞いていたつもりだったので、不安に思うことがある。もっと聞く姿勢を作っていきたい。
- 毎日保護者と会って話をするのが難しいので、連絡ノートを活用し伝えている。保護者の方一人ひとりの受け止め方も違うので、ことばの選び方に気をつけている。
- まだまだ知識不足で、保護者にアドバイスをする自信がない。
- 一番や上手い下手にこだわらず、出来た挑戦したということをもっとほめたり認めてあげてほしい。

《子どもに対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

		A	B	C	無
1	登降園時、元気な挨拶をしていますか	23	3	0	0
2	すべての子どもを褒めていますか	12	12	2	0
3	子ども一人ひとりに、穏やかに話をしていますか	9	15	2	0
4	真剣に向き合い、良い悪いをきちんと教えていますか	14	9	3	0
5	その子に合った適切な援助をしていますか	8	13	5	0
6	子どもの目の高さになり、子どもと関わっていますか	15	8	3	0
7	正しい言葉遣いをしていますか	6	18	2	0
8	子ども達を呼び捨てにしていますか	5	10	11	0

【評価】

- 一人ひとりの好みや対応の仕方を工夫し、その子にあった援助を心がけている。どうしたら行事や遊びが楽しめるか考えている。
- 子どもたちの持てる力を信じながら”子どもの目線に立って”を忘れないように心がけている。
- 物事のよし悪しをきちんと伝えられるようにしている。
- 平等に接すること、上から話すことのないように気をつけている。
- バタバタしていると話を聞き流してしまう。時間のある時は、しっかり目線を合わせて話すようにする。
- 園児が保育園って楽しいと思えるよう、自分も保育士の仕事を楽しむことを心がけ、日々子どもたちと向き合っている。
- どのクラスの子からも元気をもたらしている。ことばで伝えられない子の気持ちをくみ取ってあげるため、子どもたち一人ひとりの表情や態度などに十分注意している。
- もっと子どもたちに寄り添い、これで良いのか成長過程を考えて保育をしていきたい。また子どもたち自身が自ら考えて行動できるようにしたい。
- 子どもに対して呼び捨てや言葉遣いに気をつけたい。
- 子ども一人ひとりに合った援助ができるよう試行錯誤しているが、まだ適切な援助はできていない。
- 子どものペースを大切に、寄り添って援助していきたい。
- 子ども達が結果にこだわらず自分でできた、挑戦した事に自信が持てるように褒めたり認めたりしている

《安全に対して》

A…できている B…大体できている C…まだ努力が必要

		A	B	C	無
1	誰がどこでどのように遊んでいるかを把握していますか	6	16	3	1
2	人数のチェックを定期的に行っていますか	8	13	4	1
3	子ども達の動線を予測した保育の位置になっていますか	7	14	4	1
4	保育者の補助を必要とする固定遊具には保育者が付き添っていますか	14	10	1	1
5	子ども達に遊具の安全な使い方を知らせたり、遊びの中で気付いたり、判断できるような働きかけをしていますか	10	15	0	1
6	ひもの付いた服装やカバンを掛けたまま、すべり台で遊ばないように指導していますか	16	7	1	2
7	使用中の鉄棒に近づくと危険な事を教えていますか	14	7	2	3
8	子ども一人ひとりの心情、興味や関心、能力に応じた指導が行われていますか	4	18	3	1

【評価】

- 未満児
 - ・ 子ども達の姿や様子から危険に繋がる要素はないか、常に考えるようにしている。
 - ・ 戸外遊びでは、人数を確認しながら目を配っている。
 - ・ 行動範囲が広がっているため、一人ひとりの動きをしっかりと確認し、保育士同士で声を掛け合って注意している。
 - ・ 怪我のないように気をつけて見ていく。クラスでも連携をとっていく。
 - ・ 遊具の使い方など危険な時はすぐに声をかけ、危険回避ができるようにしている。
- 以上児
 - ・ 常に安全を心がけ、怪我に繋がらない様に目を配っている。
 - ・ 危険な遊び方に対し、子ども達が自ら気づけるような指導をしている。
 - ・ 子どもの命に関わる危険な行動には、十分に注意をしている。子どもの人数確認をし気をつける。
 - ・ 戸外遊び中は、自分のクラスだけでなく、他のクラスの子の様子にも目を配っている。
 - ・ 一人ひとりの動きを把握し、その子にあった声掛けや対応ができるように心がけている。
 - ・ 全体が見えるよう立ち位置等意識している。死角になってしまう場所もあるので注意したい。